横須賀市立武山小学校

児童理解部

学校緊急救急連絡体制

この緊急連絡体制は、学校の児童の大きな事故に対する緊急体制の組織である。

校長　佐々木崇浩

教頭　筒井由紀子

教育委員会
保健体育課　822－8486
学校教育課　822－8480

事故発生 → 発見者 → 職員室 → 学校長 総指揮

特に救急を要するもの → ① 意識障害 ② 呼吸障害 ③ 大出血 ④ 心臓停止 ⑤ 頭のけが ⑥ 骨折
→ 救急車 119

他の教職員 ― 養護教諭 ― 教頭 ― 総括教諭 ― 学級担任

指示により対処

残留児童の学習
学級体制整備

必要に応じて
全校指導（代表）

応急処置

状況に応じて
・病院へ付き添い
・治療付き添い
・医師の所見を聞く

119番と校医へ連絡

保護者へ連絡

・保護者に説明
・状況に応じて
治療立ち会い

教委へ第1報

概況・把握

・いつ、どこで
・誰と誰が
・何をしていて
・どのように
・どうなったか
・時間経過に
したがって
・状況によって
現状保存

緊急職員会議 → 教委へ第2報

正確な状況把握

・原因,経過
・学校での処置
・入院先
・けがの程度
・病院での処置
・医師の所見

教委へ第3報

客観的事実の把握 → 見舞い

涉外

窓口の
一本化
対外的には校長が対処

市教委へ事故報告書

校医へ経過報告 ― PTA会長へ報告

・日本スポーツ振興センター
・学校災害見舞金
― 手続き

日常の配慮事項

1，日常の安全点検と補修
2，特別活動及び施設、設備、備品の管理
3，児童への安全指導
・施設用具等の安全を事前に直接点検する
・児童に事故防止や安全に関する指導を事前にしておく
・児童の日頃の健康状態や精神状態を把握しておく(食物アレルギーも含む)
・実施にあたって十分な監督を行う
・器具やその用法について事前に熟知しておく
・薬品などの保管、管理の徹底をはかる

特に安全について、指導を要すること

1，行事　遠足、修学旅行、キャンプ、運動会、着衣泳、集会活動等

2，教科　体育、理科、図工、家庭、生活、クラブ等

・ 事前の指導や注意を十分しておく
・ 禁止事項をきちんと知らせておく
・ 実施中、その場での安全確認
・ 危険物の排除

校医関係

内科（渕上）	855－0565
耳鼻（柴崎）	857－7000
歯科（松澤）	856－2587
眼科（富岡）	856－3136
薬剤師（竹内）	857－6000
横須賀共済	822－2710
横須賀市民病院	856－3136
うわまち病院	823－2630
衣笠病院	852－1182
協同無線タクシー	825－4444